

寒くなってきました

天塩町地域おこし協力隊の小林と佐久間です。あっという間に寒くなって、びっくりしています。

今月もお話したいことがたくさんありますので、その中からいくつかお届けします。

① 啓徳小学校の再活用について

天塩町にとって、廃校を公的に利活用するのは初めての試みかと思います。まず私たちにできることとして、関係する法律や制度の確認を進めています（蓋を開けてみたら、スタートラインに立つまでが大変でした）。また、空いた時間に校舎の清掃も続けています。たくさんの思い出が根付いている場所だからこそ、地域のみなさんの声をふまえながら活用の可能性を探っていきます。地域に開かれた、いろいろなことに挑戦したり交流できる場所になればと思っています。また報告しますので、「こんなことをやってみたい」などありましたら、ぜひお聞かせください。

② 天塩町の植生を残していく活動について

さく葉標本（押し花標本）の作法を学ぶため、東京都立大学 牧野標本館（収蔵数 50 万点超え！）の加藤助教を訪ねました。観察・記録から採集・標本化まで、みっちり教えていただきました。今後も標本をお送りして、（厳しく）ご指導いただけることになりました。また、天塩町の植生調査を進める中で、オオハンゴンソウなどの特定外来生物がかなり広がっていることが分かりました。放っておくと、町の生態系や農業に影響が出るおそれがあります。そこで来年、みんなで抜き取るイベント（ストレス解消にもなります）を企画したいと考えています。

③ その他

町民文化祭の作品展に、小林は写真、佐久間は彫金のアクセサリーを出展しました。準備の段階からたくさんの方に声をかけていただき、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

これから寒さが厳しくなりますが、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。引き続き、よろしくお願いいたします。

